



三中校長室だより コラボレーション

令和2年2月1日号
TEL446-1151 FAX446-1153

【心の世界と物の世界】

心は形をつくり、形は心を整えるといいますが、心を整えるために立腰で形をつくるのか、心が整っているから形が出来るのか。どっちが先かという、どっちも先であるという言い方ができる訳です。心が整っておれば、立腰の形が出来るし、形が出来ると心も出来るということになっています。(心身相即の理)

心の話が出ましたので、今回は物の世界と心の世界の話をしたと思います。

お小遣いは使えば減りますね。鉛筆は使えば小さくなります。ノートも使えばページがなくなります。使えば古くなります。そんなこと当たり前ということになりますが。世の中には、使えば使う程増える世界。また新鮮になる世界があります。

それは、『心の世界』です。

人に親切にされたら、うれしい気持ちになったり幸せな気持ちになったりします。知らない人からにこっと笑って挨拶をされたら、ほんとうに良い気持ちになります。喜ばれたり、お礼を言われたりすると親切にしたいなあという心が増えていくものです。心は使えば使う程、増えていくことがわかります。『**心の世界は増える。物の世界は減る。**』ことがわかります。

クラスの仲間づくりでも、良い心をどしどし出していけば、どんどん良い心が増えてやがてまわりに広がります。良いクラスづくりが進めばよい学校づくりへと進んでいきます。

【早朝クラブの掃除活動】

掃除に学ぶ会の会長さんが、『**ひとつ拾えば、ひとつきれいになる**』という言葉を残されました。毎朝、冷たい雑巾をしぼり、早朝クラブの部員たちが、玄関から廊下にかけて、一生懸命に掃除活動を行っています。学校に来られる高等学校の先生からは、「三中はいつも廊下がきれいに磨かれていますね。外靴で廊下に上がるのが気を遣うくらい美しいですが、どうしてですか。」と聞かれることが、度々あります。

日々の、表面には見えない部分で頑張ってくれている生徒がいるからだと思います。酷寒のこの時期に毎朝清掃活動をしている生徒には頭が下がります。



【まなび舎事業】

放課後にまなび舎が開催されています。まなび舎の参加登録者数は30名を超えていますが、随時登録は受け付けています。毎月木曜日



日に月2回くらいの頻度で行われています。毎回地域の方々がボランティアとして来ていただいています。差し入れのジュースを飲みながら、たのしく学習する空間が定着しました。地域の方々のご支援に感謝いたします。

【花いっぱいプロジェクト事業】

1月25日(土曜日)に東山地区の方々と男子バスケットボール部・科学部の部員が晴天の中、活動しました。パンジーを通用門の花壇に植え、道路沿いのフェンスにあるつるを掃除しました。

見事に咲いた花々を登下校中に見ることができるのが楽しみです。

フェンスには、『**負けるな、汗をかけ、感動せよ**』の横断幕が飾られました。交流会では、地域の方々から様々なお話をいただきました。ありがとうございました。

